



福山市立大学研究生で学び直し!! 連載

村上栄二です。

NEW!



Q 村上栄二

検索

プロフィール

りじょう幼稚園、福山市立新涯小学校、福山市立誠之中学校、私立近畿大学附属高等学校福山校近畿大学法学部経営法学科を卒業。大学卒業後、有限会社DC開発研究所にて代表取締役のほか、大阪市会議員（1期）を務める。2015年6月からは「地元に戻りたい」想いで福山に戻る。広島県議会議員。

今月のテーマ

中国地方転出超過数が最も多かった福山市2569人とされたが【事実の数字積み上げて真実】を考えてみる。

日本人はマイナス466人、外国人がマイナス2,103人という事実!

推察

- 1: 外国人に関しては日本語を学ぶ場所が多く、外国人は福山市で学び、各地域に派遣されて働くケースが多い事が予測される。
- 2: 日本人女性は20代から30代前半の女性転出が多い。
福山市は新幹線で広島市・岡山市30分以内、博多1時間30分、大阪1時間で出てしまう。しかし、今後コロナにより転出状況がどうなっていくのか? 若い女性や人々の行動変容に注視すべきだ。
- 3: 岡山県の高校生調査では、東京への進学を考える女子には結婚、出産を優先しない傾向があるということがわかった。

2019年 福山市の人口移動状況(社会増減)		総 数	うち日本人		うち外国人
国内移動	転入者数 (A)		9,991	1,177	
	転出者数 (B)		10,457	3,280	
	(A)-(B)	▲2,569	▲466	▲2,103	
国外移動	転入者数 (A)	4,853	362	4,491	
	転出者数 (B)	1,907	362	1,545	
	(A)-(B)	2,946	0	2,946	
計	転入者数 (A)	16,021	10,353	5,668	
	転出者数 (B)	15,644	10,819	4,825	
	(A)-(B)	377	▲466	843	

参照【福山市企画政策課】

単位(人)

今後の対策

- 1: 福山市は暮らす街であるという事の定着と時代に合った企業風土の創設が必要。
広島県は10年間で企業の転入145社と転出217社と全国で5番目の転出超過(マイナス72社)である。
製造業やモノづくりが大きく変容しており、「時代変化をどう捉えるのか?」が重要な視点。
- 2: 女性が子育てや出産時に初めて行政(自治体、市町村)の違いに目を向ける。特に「子育てに優しい街なのか?」が大変重要な視点。
大阪市では【18歳まで医療費無償化、幼稚園3歳から18歳の私学まで授業料無償化、中学生以上塾代助成金毎月1万円、学校給食小中学校無償化、妊婦健診14回無償化、新婚・子育て世代向け住宅ローン補助金など】、恵まれた子育て環境が提供されている。
- 3: 福山市にあるキャステムさんは200人中の半数以上が女性就職希望者だ。
企業訪問した際、「業務委託せず自社で開設している綺麗な食堂で、社員は170円でお代わり自由の食事が楽しめる」とのことであった。
若い世代への挑戦を認め、社員たちが生き生きと働ける環境を創る事が大切だと実感。
実感こそが社員同士の口コミとなり、女性の就職志望が増えている。
形だけを真似るではなく「今、時代・現場・若者は何を求めているのか?」という事をいち早く察知する感覚が経営者に求められている。

村上栄二流の結論

- ・備後圏全体で人口動態を考えるべきであり、さらに言えば国全体で動態を考えるべき。
- ・若い人たちの取り合いとなる子育て政策は、一定国が指針を示し予算を持ち対応すべき。
- ・定住人口策ではなく関係人口を増やす事が結果的に定着人口へと繋がる発想の転換。